

災害乗り越え 元気満開



宇治川を下るお花見船

背割堤さくらまつり

全国屈指の桜の名所となつた淀川河川公園背割堤地区で3月30日〜4月7日の9日間、今年も背割堤さくらまつりが開催され、約36万人の来園者でにぎわいました。

このまつりは、市や京都府、淀川河川事務所などで構成される実行委員会が主催。昨年9月の台風21号による記録的な強風で、倒木やほとんどの木で枝が折れるなど、大きな被害を受けた背割堤の桜並木ですが、「災害に見舞われても立ち直っていこうとする桜並木の姿を多くの方にご覧いただきたい」との思いから、委員会は今年も開催を決定しました。

会場では、船上からのお花見や淀川三川合流域のおいしい食べ物などが並ぶマルシェ、観光ガイドによるお話ツアーなど、さまざまな催しを実施。また、さくらであい館の展望塔に上って、約25mの高さから桜並木を一望したり、撮った写真をインスタグラムに投稿したりするなど、来園者たちは災害に見舞われながらも元気に花を咲かせた背割堤の桜並木を満喫していました。



桜のトンネルを歩く来園者たち



たくさん来園者でにぎわうマルシェ

堀口市長(後列左)に指さし会話集の完成を報告した龍谷大学の学生たち



多言語表記 指さし会話集 外国人観光客に対応

市と連携して外国人観光客への対応事業を行っている龍谷大学政策学部村田和代ゼミの3回生が、多言語表記の指さし会話集を作成し、3月29日、堀口市長に完成を報告しました。同事業は、平成29年度から実施しており、これまで留学生参加のモニターツアーやインスタグラムによる外国語での発信などに取り組んできました。指さし会話集は、観光案内所、松花堂庭園・美術館

での聞き取り調査で要望を受けて作成。英語、繁体字、簡体字、韓国語の4カ国語に対応しており、市外からのアクセスやレンタサイクルの利用方法などを指さして説明でき、イラストを使って見やすくするなどの工夫もされています。同ゼミの林舜哉さん(21)は「指さし会話集を使って観光をより楽しんでもらいたい、八幡市のことをもっと知ってもらえたら」と期待を寄せていました。

龍谷大生市長に完成報告

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

圧巻 つばき300種

一輪挿しなど来場者魅了

松花堂庭園の春の風物詩「松花堂つばき展」が4月5日〜7日の3日間開催され、約1200人の来園者が会場に飾り付けられた色とりどりのつばきを楽しみました。同展は、平成元年から毎年開催されており、今年で31回目。会場には300種を超えるつばきが展示されました。

松花堂庭園

庭園では、ハートやまりなどの形に組んだ竹の花器につばきを飾り付け、竹の緑がつばきの鮮やかな色を一層引き立て、来園者たちは写真を撮るなどしながら庭園を巡りました。また、美術館別館内の会場では、一輪挿しや生け花、つばきをデザインしたステンドグラスなどが展示され、来園者たちは趣向を凝らして飾られたつばきを堪能していました。



一輪挿しで飾られたつばきを楽しむ来場者たち

今月のこの人 バドミントン 目標は世界



やました ひなた 山下 陽詩さん

バドミントンのコーチである祖母の影響で、5歳からバドミントンを始める。世界で活躍するアスリートを目指し、育成する京都府教育委員会の「京都きつず」の8期生に認定。小学4年生。プロフィール

「毎日したいくらい好き」と、今はバドミントンをするのがとにかく楽しいという山下さん。4月から、小学4年生から中学3年生までの6年をかけて行われる「京都きつず」の育成プログラムに参加中。市内のジュニアチームでの練習に加え、週2回京都きつずの練習に励んでいます。京都きつずでは、シャトルを打つ、実戦形式を中心に練習。「高いレベルを目指すメンバーと打ち合いをするので、色

々なショットの球筋を経験することができて面白い」と話します。今後の目標について、「オリンピックなどの世界大会での優勝。同じ学年でも自分より強い子がいるので、まずは京都の中でトップになりたい」と夢に向かって一歩一歩進んでいきます。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物を紹介していきます。自薦・他薦問わず、紹介希望者を募集していますので、詳しくは、市ホームページをご覧ください。秘書広報課へお問合せください。